

原稿用紙 3 枚以内掌編小説シリーズ

コミュニケーション 9

Communication 9

「貧乏暇なし、逆手にとって」シリーズ 7

“The way of getting it alive,
it means “Money poor has no leisure time” series. Vol-7

うときゅう いっき

by Khazu san

物書き

うときゅういっき



目次 (Agenda)

●序 芭蕉に倣う (On seeking for new way of little bit long Japanese “Haiku” style.)

●新シリーズ「貧乏暇なし、逆手にとって」シリーズ 6

“The way of getting it alive, it means “Money poor has no leisure time.” Series
vol.6

-contents-

●本編掌編小説 1

(Japanese expression ver.)

「残り、あと 30 秒で」

(English expression ver.)

“Within the left, only 30 sec, by, with”

●ご参考 (前巻 最終掌編小説)

(Japanese expression ver.)

「八方よし。の時にパンドラの箱は密かに開いている」

(English expression ver.)

“Almost anything run Ok, looks like timing, at the same time, secretly Pandora
box has opened”

●本編掌編小説 2

(Japanese expression ver.)

「怪談「AI」？」

(English expression ver.)

“A horror story concerning to AI?”

●本編掌編小説 3

(Japanese expression ver.)

「辺境より？」

(English expression ver.)

“From the edge of this world?”

●各篇の終わりには「+ 脱稿時当日の 日記 又は オマケの英語教室 いずれかの

雑文」が付いております。休止中

●著者プロフィール(Writer`s profile)

序

2022/8/30

芭蕉に倣う

On seeking for new way of little bit long Japanese “Haiku” style.



「芭蕉の俳句が手本。このコンセプトを活かし、今少しガイド的な言葉添えをした新しい表現形式が出来ないものか？」

本書はその訓練に掌編小説を原稿箋3枚以内で書き表すトライアル・シリーズで御座います。

本編

2024/3/15

15th Mar. 24

(Japanese expression ver.)

「残り、あと 30 秒で」

(English expression ver.)

“Within the left, only 30 sec, by, with”



(Japanese expression ver.)

「残り、あと 30 秒で」

「もっと怖い予測も成り立つ」

「もういいよ。大概にしてよ。儲からない八つ当たり」

「将来の人間は年金が全くもらえなくなる」

「な、なんでよ？」

「AI は年金支払い、要求しないが、逆に年金の原資になる社会保険料、払わないし、会社も AI に社会保険や労働保険に加入させなくていいし、会社負担もしなくてすむから大喜びだろうし」

「えっ？」

「みんな無意識に誤解しているが、年金は自分が働いていたときに納付した社会保険料がどこかクラウドみたいところにプールされていて、後日退職した後に紐付きで自分めがけて専用に支払われているわけではない。退職した後の現役世代が、退職世代を養う形で

年金が支払われる仕組みになっているのをよく理解していない向きがあるようだ。だから退職した後のことなんか知りませんとばかりに、後代を育てなかつたりしたツケが回ってきてが今の年金受給世代を苦しめているわけだが、それより何より、その後代が全部 AI になってしまっていたら、AI には年金必要ないし、将又、当然先代の人間の為の社会保険料なんて払わないし、経営者も社会保険加入負担がなくて済むならこんなに助かることはないわけだから、どんどん AI に仕事を置き換えていくのが目に見えている。

となると、人間は AI によって職を奪われた上、無職で金が入らないところに持ってきて年金さえ受け取れなくなるから、見えてくる姿と言えば「野垂れ死に」か「餓死」しかない。

かつてコロナ禍のネパールで多くの人が死んだのはコロナに感染した以上に、コロナ禍で雇い止めに合い、外出もできず、食うものがなくなって餓死した人間が相当数いたことを考えれば、想像に難くない」

「そんな企業の暴走が始まる前に、国や政府が何らかの歯止めかけるでしょうよ。その前に」

「大臣も政治家も選挙で選ばれる。有権者が人間じゃなくて AI ロボットになっていたら、政治家は人気取りのため、得票のために AI においしい政策を掲げて選挙に臨むでしょうに。今までの例から見て。

信念も政策も何もなくただただ、得票数狙いだけだったでしょうに、政治屋さんたちは。第一その前の人間有権者時代に、政治圧力団体化した経営者達が、目の前にぶら下がった人参欲しさに、AI 促進法案、どんどん通させるように政治家に働きかけるだろうし、政治家も得票になるならと例のあれよ♪越後屋、おまえもワルよのう。イエイエお代官様ほどでは、ガハハハ♪状態でしょうに」

「政治経済、政財界、有権者全て、まるでダメって事？」

「今の経済効率最優先、頭数だけあれば何でもありの人気取り最優先システムからすればそれは必然の結果だ。

後は視聴率、購読者数最優先のマスコミだ。最初批判的だった論調も、今じゃいつの間にか、AI 礼賛一色だ。まるで政財界、マスコミ連は戦前の大政翼賛会と、ご用報道みたいな常態になっている。、それと御用学者連もだ。

「大政翼賛会」じゃなくて「大勢欲ボケ会」状態だ「大概に、よさんかい」だ。

要するに全てが数字や数の論理なんだ。数字の世界観と数の論理なんだ。

売上高。利益率。年収額。得票数。購読者数。全部数の論理だ。

数の多い事、大きい事はいいことだ。だから数を取れ、枯れ木も山の賑わいでいいからって言う。安さ業界一番になるなら、材料の質なんて無視、見たいな事も起きる。

それが横並び意識の強い我が国では更にそれが顕著だ。何かがちょっと変わると一気にその流れが怒濤のごとき雪崩となって一方通行化する。赤信号、みんなで渡れば怖くない、になる。その伝で、今や AI に批判的なことを言えば村八分も同然。時代遅れのボンコツ

扱いされる。

このままの状態が続けば、温暖化抑止や AI の事も我田引水の利害打算を外して、捨て身で真剣に取り組まないと、大変なことになる。杞憂が杞憂ではなくなる日が来る。

今じゃ誰も顧みなくなったあの「終末時計」の終末までのこり 30 秒は、案外正しいのかもしれないぞ。

全ては自分にとって都合のいいところ取りで、我田引水的解釈ばかりをし続けてきたがために完全に目が曇ってしまった我々人間の自業自得の、大チョンボのせいだ。

それによってもう時間切れになっているのかもしれない。

余すところ残り 30 秒。

その時間内で何ができるか？だ。その立て直しに、我々は」

(English expression ver.)

“Within the left, only 30 sec, by, with”

“We can have forecast, more terrible one.”

“Stop, too much enough!! Your frustration out for me instead of to no get earnings!!

“In future retirement person will turn to no receive any pension perfectly.”

“An? Why, why?”

“AI no requires pension money paid, but AI no pay social insurance fee which is source of pension system. Company owner may be very happy because of no need paying 5 types social insurance fee for employees` and company should owe half of insurance fee as an additional one. Totally double amount money no need pay to officer.”

“What?”

“Even though all unconsciously with misunderstanding, pension money not be paid from own paying social insurance money at the time of worker working like a pooling on internet site cloud but paid from at present current worker paying one, is pension system correct understanding. From it, later damage coming from behind own mis which no make under their position guys grown up, the guys who pay social insurance fee which feeds previous generation. But more, further serious damage is that, if the later generation all will be replaced to AI worker, first, AI no need pension money, second, maybe AI no have will of paying money for previous working generation, and third, company owner is very happy from no need paying social insurance 5 types fee anymore, then the owner with delightful mind, likely to replace from human to AI worker, it`s obvious, we can be occurring easily.

If it`s so, addon human under very poor position from lost job cause of AI worker less mis, will get lost pension money receiving, it`ll invite human miserable death from less money

for food buying, like under covid-19 Nepali worker who had died from less food buying money because of layoff, should stay inside home rather than from covid-19 itself infection, we can so easily imagine.”

“But before companies such overrunning happens, nation or gov. likely to put a stop against such overrun!!”

“Ministers and politicians are elected by voting. If the case of election rights holder is turned to be from human to AI, almost politicians for voting tips more getting, they will offer AI comfortable popular plans in front of AI, maybe.

These politicians have taken advantage of voting tips getting first rather than stateman ship. Until now from many, many samples.

At the first, before it happens, in the era of human main, company owners give pressure to politicians for proceeding AI advantage plan passing conference and on other side politicians for getting voting tips more, will accept their requests. At the time to each other profit just matched. lol, lol, lol!!”

“politics, business, people, all side out, bad!!, the meaning or not, hum.”

“It`s the exact result from economy performance first, number of popularity first.

And media also.

On summarized, all from numbers, numeral logic. From numbers, numeral perspective and logic.

Number of sales mass, profit ratio, one year total income, voting tips getting, readers mass getting, all from numbers logic, perspectives!!

Numbers so many, so big, large, huge is good!! No need counting contents quality. Importance is numbers of heads counting. Then get numbers!! Screaming around here and there!!

If to continue such behaviors, if less putting me first behavior aside, less seriously tackling to issues of planet warming, AI, huge collapse will come, the possibility we have.

Now no one concern the final count down clock, on it the only left 30 sec, it might be correct, true, perhaps.

All from our covered eyes because of over my convenience first, is. Very big mis!!

Due to series big mis, it might be too late.

The left only 30sec.

During it, what, how can we do for New Deal!!

(本編、ご参考)

2024/3/11

11th Mar. 24

The day of big collapse “East Japan “ memorial day, never forget it!!

(Japanese expression ver.)

「八方よし。の時にパンドラの箱は
密かに開いている」

(English expression ver.)

“Almost anything run Ok, looks like timing,
at the same time, secretly Pandora box has opened”



(Japanese expression ver.)

「八方よし。の時にパンドラの箱は密かに開いている」

「AI の生産性 (GNP) が人間の生産性 (GNP) を完全に上回り、最早人間は経済の面からその主役の座を降り、降りるところかいらなくなる、むしろ非生産的な存在で生産性向上の足を引っ張り、邪魔にすらなってしまうと予測されているのが 2040 年頃だそうだ。

その数式は $y=a/(2040-x)$ 。

ちなみに、 y は国民総生産 (GNP)、 x は年数を表す

この数式を考案した人の言に寄れば (以下引用)

「様々な国の GNP の推移がこの数式によく当てはまることが分かったというのだ。農耕の普及や産業革命によって上昇を続けてきた GNP の曲線は、生成 AI が登場した 20 年代から次第に急勾配になる。この先も数式通りに GNP が成長すれば、40 年には無限大に達する。

AI が人間の知性を超える瞬間は「シンギュラリティー（技術的特異点）」と呼ばれる。AI が爆発的な発展を遂げ、GNP のほとんどを稼ぎ出すようになれば、人類の存在は無視できるほど小さくなる。

AI が経済活動を支配する世界では「どんなことでも起こりうる」って。

この式が正しいとすれば、2040-2040-0 となる 2040 年には分母が 0 になるから、 $Y = \text{国民総生産}$ は AI の方が無限大になってしまう。

こうなると現在において、飯も食わない給料もいらない、泣き言も文句も言わない AI の導入に狂喜乱舞している投資家や経営者もいずれは AI の奴隷になるか AI からお払い箱にされるという予測が成り立つ。当然 AI をシャカリキになって開発した開発者そのものもお払い箱になっているという予測だ。

今、全世界が AI の進展に対して「八方よし」と豪語している、まさにこの瞬間に「密かにパンドラの箱（蓋を開けると不幸や不運が飛び出す箱）があいている」可能性が高い。非常にヤバいことだ。

まさに「事件は会議室（鳩首会談、議論の場）で起きちゃない。現場（現実世界）で（既に）起きているんだ」と、叫んだ湾岸署の青島刑事が言ったが如く、はたまた、映画の題名「歴史は夜作られる（みんなが寝ている知らない間に、の意）」そのものだ。

「確かにほかの説明より、経済的根拠を持って説明されると身近にヤバいって言う気がするよね」

「人間は目の前の事についつい気をとられる。そして全体を見失ってきたのが今までの歴史ともいえる気がする」

「じゃ、どうしようっていうのよ。この前も同じような話をされて、答えはぐらかさせた記憶があるんだけど」

「もう少し傍証をあげた後でその点に触れるよ。」

その今ひとつの傍証というのは

（以下引用）「米欧や日本の株高は企業業績の改善を伴っているからバブルではないという。もっともな指摘だが、どこかふに落ちない。収益が拡大し、人類の未来が明るいのなら、なぜ AI ばかりに資本が集中し、日本の半導体関連など一部はバブル化しても、他の業種の PER（株価収益率）、すなわち期待は高まりにくいのか。

生成 AI は生産性を飛躍的に高める半面、多くのビジネスや雇用が失われる「不都合な未来」を市場は映し出しているのかもしれない。バブルにならない怖さがここにある。循環物色には落とし穴が潜む。

米エール大学のロバート・シラー教授が算出する物価と景気変動の影響を除いた米株の実

質 PER は 30 倍台。大恐慌直前の 1929 年 9 月（33 倍）や 00 年の IT バブル崩壊前、さらに新型コロナバブルの 21 年も大きく下回る。

東証株価指数（TOPIX）の予想 PER も極端に過熱しているわけではない。直近約 15 倍は 99 年 9 月の 50 倍超や 20 年 11 月の 18 倍強を下回る。PER は期待（株価）を分子、実績（1 株利益）を分母とした割り算だ。「割高ではない」は、「実績に比べ期待が高くない」と言い換えられる。

歴史の転換点は米オープン AI が対話型 AI の Chat（チャット）GPT を発表した 22 年 11 月末。QUICK・ファクトセットによれば、この日以降、米株の業種別予想 PER（19 業種）は明暗が分かれた。24 年 2 月末時点で半導体などの電子技術は 27 倍（プラス 5 ポイント）、ソフトウェアが含まれる技術サービスは 29 倍（プラス 3 ポイント）に上昇したが、レストランなどの消費者サービスや医療サービス、電力などの公益事業といった業種は低下した。

1 枚のチャートに現実と未来が映る。米ダートマス大学のケネス・フレンチ教授のデータによれば米株全体の時価総額に占めるトップグループの割合は 23 年が 74%。00 年を上回り、大恐慌期の 1932 年並みかそれ以上に達した。弱小資本が強大資本にのみ込まれる不況期の資本集中を暗示しているようだ。

「最大 7 兆ドル（約 1050 兆円）が必要」。外電が 2 月に報じたオープン AI のサム・アルトマン最高経営責任者（CEO）の資金調達構想を、市場は荒唐無稽と一蹴しない。それは潜在成長率が低迷し、余剰資金があふれるなか、数少ない有望ビジネスに投資家が殺到するのは歴史の習いだからだ。ペストで人口が急減したルネサンス期は労働力不足と賃金上昇を回避するための技術開発に多額の資金が必要となり、資本集中が進んだという。

AI は他のセクターの資本需要を締め出す「クラウドイングアウト」を引き起こす。それが全体の PER が上がらない一因だろう。

「多くの先達は若者にプログラミングを学ぶよう勧めたが、いまや誰もがプログラマーだ」。画像処理半導体（GPU）の米エヌビディアのジェンスン・ファン CEO が語る AI の奇跡は、世界から IT 開発者さえも一掃する。

生成 AI 革命の本質が、人を、とりわけ高学歴で高賃金の人を排除して利益率を上げることにあるのだとしたら、株式市場が熱狂するのは当然だ。しかし、そこに待つのはどのような経済社会なのか。「いろいろ考えが揺れてまとまらない」。ある著名経済学者は頭を抱える。

では改めて問いたい。伸び悩む PER は将来の AI 不況の映し鏡ではないか。AI は起業家精神をむしろみはしないか。株高の裏で淘汰の論理が働いているのではないか」というものだ。」

「コワ～！！」

「そう。じゃこのめちゃくちゃ恐ろしい AI がなぜ生まれたのか？

ここからが前回の質問に対する俺の答えの一部だ」

「ワカッタよ、能書きは。それより、なんで？」

AI が生まれた理由って？」

「AI って「効率至上主義の産物」なのよ。一刻も早く、一円でも安く、お手軽簡単便利にの産物。一見聞こえのいい「無理、無駄、ムラ」の撲滅の三無主義によく置き換えられるが、その結果ヒューマンエラーの多い人間がいなくなっちゃったわけ。人間は無理無駄ムラ「三有主義」のご本尊みたいなもんだから。

一方この「効率」って「パフォーマンス」とも言うし「コストパフォーマンス」とも我が国では言う。

この「パフォーマンス」を分解すると、よく我々が耳にする「費用対効果」になる。

ところがここで注意しなくちゃならないのが「効果」が何をさしているのかを問わずに、いきなり「費用」に目がいってしまう事だ。

無理無駄ムラの権化である「費用」は抑えなくちゃいけない」と、「コストダウンこそ正義」が染みついてしまった我々は、「効果」とは何か？を考える前にイキナリ「お金の僕」になってしまう。ある意味「拝金主義」ともいえる。

この「効果」に対する「費用」偏重の結果、質や量、工程を手抜きしてまでの執拗なコストダウン。もちろん見かけと表向きアナウンスは「今まで通り」

結果、見せかけだけの嘘が蔓延し、社会は価格を下げてても下げてても売れない流動性の罠にはまり、ついには生産者であると同時に消費者でもある我々の実入りが減ってデフレが定着してしまった。

AI というのはこの「パフォーマンス」追求、というよりその中の「コストダウン追求」の「最終兵器的切り札」なんじゃないのかな？お手軽簡単便利の謳い文句はユーザーサイドには「良く」聞こえるが、実は生産者側のコストダウンの言い逃れ、隠れ蓑でしかない。しかしこの最終兵器は採用した側の経営者自身の身にも最終兵器として働いちゃうんだけどさ。皮肉なことに。♪知らぬは本人ばかりなり♪、ヨ。♪江戸の敵を長崎で討♪たれちゃう結末が待っているだけなのに、ね。自業自得よ。因果応報で。

それはさておき、

経営者が喜ぶのは当たり前。だって AI のメンテナンスコストしかかからないんだから、してやったりヨ。AI に巨額の初期投資をしてもその後人件費がほぼ0になるんだったら、それが半永久的に続くんだったら先々にコストダウン「効果」は半端ないほどの成果が期待できるから。

こういうときだけ「効率」じゃなくて「効果」を持ち出すのよね、連中。

「効果とは何か」に対する我々経営者の思考深度レベルは大体そんなものでしかないのよ。「費用対効果」って案外アンマッチな異次元レベルの組み合わせかもしれないのに。

例えば「袖ふれあうも多生の縁」「瓢箪から駒」「ひょんな事から」みたいなものなのかもしれないのに、効果をコストダウン発想で安易に「お金」に結びつけてしまうものだから、そういう方面には絶対目がいかない。そういう発想が浮かびっこない。同じ乗り物なのに、

車探していれば、自転車があっても目に入らないみたいなことと同じヨ。

基。

しかし、一見三方両得に見えるここに落とし穴がりそうだ。

落とし穴に落ちるのは現在の最大受益者、将来の最大被害者の我々一般ピーポーとか。

となると、今後それを回避して、人類が生き残るためにはこの「効率至上主義」の呪縛か解放されなくちゃいけないことになる。もっと言うと「効率至上主義」を捨てないと。

今我々は「効率がよい」事を、的確に素早く「お金」が得られる。結果「幸せ」になれるし「自己実現」も達成できると一繋がりのもので同一視しているが、本当にこれだけで、ワンストップ、ワンパッカー運托生、一繋がり芋蔓式にそれら全てをオートマティカルに手に入れれるのだろうか。って疑う必要が差し迫っ鷹たちで、出てきたっていう事だよ。

疑うと言えば、普段疑ったこともなく当たり前だと思っている「お金がないから元気がなくなる」「年をとったから元気がなくなった」というのは正しい因果関係なんだろうか。って、ね。因果関係が反対なんじゃないかって、ね。「元気がなくなったからお金が寄ってこない」「元気がなくなったから老け込んだ」

という因果関係になって、ゲンキであるか否かこそが因果関係の元、つまり原因だという風に順序が入れ替われば、気持ちさえ元気であれば、お金が多少なくても、多少体にガタが来ていてもなんとかなるんじゃないかなろうかって、思えない？

むしろ効率とは無縁の、効率の悪い人間くさい、無理、無駄、ムラをしこたまして遠回りする方が、結果として質の違った新しい「効果的」に巡り会えるんじゃないかなろうかって思う昨今な訳よ」

「なあんだ、日頃の自説の自己宣伝かよ。真面目に聞いて損した」

「損を覚悟でする投資じゃない限り、人の心は動かんよ」

「シャチョ、どうして（どうして＝投資で）？おせえて、おせえて、シャチョってばあ。

おせえてくんなきや、すねちゃうから。いけずう。♪いやん、ばっかん、うふうん、其処がキモい（「肝」のことを本人が間違っ覚えてしまった結果の言葉の誤り）なのにい♪あへ!!」

注）引用文は日本経済新聞記事より。

前者記事：「テクノ新生」執筆陣。執筆者名は未掲載

後者記事：「マネー底流、潮流」より。編集委員 永井洋一氏

(English expression ver.)

“Almost anything run Ok, looks like timing, at the same time, secretly Pandora box has opened”

It's 2040 which is forecasted that AI GNP overtakes Human GNP and from it, human will drop out from economical main stage, no, more over human might be treated, counted as a productivity up disturbing one, rather, which makes productivity down, bad anti by human error.

Above proving formula is : $y=a/(2040-x)$

$Y=GNP$, $x=$ at the time year means.

According to this formula settling person's saying (below from him quoted)

"He reported that he found it out, so many countries GNP shifting, pasting, running fits this formula. Due to planting expansion, industrial revolution, while rising up GNP curve, from half the later of 20ies, when AI on stage, sharply rising up. From now to further future if fitting to this formula, AI GNP will reach to " ∞ " maximum. ($y=a/(2040-2040=0)$). $y=\infty$) On economy AI only, no need human. Under AI controlling world, anything unknown will happen, the possibility there." He said.

At the time of now, almost of all investors or executives who crazy dancing from no need pay salary, no need concern to feed, extra working time over, their complaining by AI system entering alternative human staff, but at the final, they investors, executives themselves own will turn to be servants for AI or from AI, forced to be treated as a trash, the possibility they own have in 2040 near future. And exactly AI developing IT engineers own also under such destiny will fall into.

At now all the world "Almost anything run Ok, looks like timing, at the same time, secretly Pandora box has opened", the fact might be. Just it's very dangerous situation, now we are standing at separating point.!!

Event not happens in conference room, but happens on live field. Or history will be made under sleeping time dark midnight, the same."

"Yes, exactly feel danger. According to be attached economic proof, more real impact given, get shocked."

Human easily gets caught up by current in front of. Easily get lost birds' eyes covering wide field. Such tendency have made our history series, exactly we can say."

"Then a, well now, what should we do, you say? In the previous time, you murmured the same, but at the time you fainted."

"Just wait, give me a time for mentioning about another proof.

The one is below.

This one is also quoted from news paper article.

"In the case of US, in the case of Western Europe, in Japan, market stock price hi up even though those hi up are attached with improving of companies p/l result, it's never called

“Bubble” market stock price” a famous economic scholar said. But I (this writer) feel something unmatched sense. While profit get increasing, if our future is bright, why the capital concentrates only to AI, for example in Japan semi conductor relevant a part of company`s PER(Price Earnings Ratio) is bubbly level but other field PER, in other word using, why expectation for future up is difficult on other field except AI field relevant?

On the one hand Chat GPT type AI makes productivity so hi up. On the other hand except AI field inside, vasa versa, PER not hi up, it might be reflecting advancingly what so many business and belonged to it employing, hiring lost, the possibility in the future holding market anxiety. Automatic target searching function has black hole, holds a danger of unconscious mistake inside.

Totally on stock market average PER(Expectation/actual) not so hi. Expectation is not mirage, still within reasonable cool level. Then we feel it`s still not heat up level, not bubble on stock market.

For example TOPIX PER now x15, vs 1999 x50, 2020 x18, now so low, under.

But historical turning point happened at 2022 when Chat GPT on stage of stock market. After it, on US stock market PER up/ down section obviously got separated. Semi conductor and software developer containing PER so hi up. But on opposite consumer service, medical service, electricity supplying public service field PER all got down.

A chart on one sheet, present expectation and future actual is at the same time reflected, screened.

Now top 19 of stock holding total is 74% vs. all stocks. This level is very closer or reaching to already over level than within period of Big economic crisis in 1932.

It might be suggestion of big economic crisis coming closer, with shown “small capital are swallowed by big capital”, the capital concentrating.

“For AI development require 7k billion \$”, by Chat GPT CEO announcement. For it, market reaction no held it`s a crazy requirement. Because investment for AI field, under no useful target finding out, but overflow money so hi, AI is very rare chance field of their getting money eager. “Their” means investors. And investor rushing into rare target AI is historical level normal activity.

AI causes “crowding out” which means other sectors get kicked out, spoiled.

This might be one of reasons which total PER no up.

Nvidia CEO said “Former so many wisdoms recommended young generation to learn about programming. But now due to AI, anyone can be programmer.”

His talking AI bringing miracle get forced even IT engineer`s job lost.

Tentative the essential core of Chat GPT type AI revolution, to reject human, especially hi class education, hi class salary holder, investors or executives take happy dancing from even

though they can get hi level earnings more than now, because of no need spending hi cost.
But on opposite lost job human how? Which kind of economy society in future waiting for us?

At now not so easily rising up PER is a signal from futural AI causing decline or not. AI convenience cause start up mind declined or start up mind get averaged or not?

Behind market stock hi, logic of selection running on or not?"

Like this article, like this side sub proofing was."

"Terrible fear!!"

"Then a, such terrible fear AI hazard why comes out? from which comes out?

From here, to previous time your question, one of my answers is."

"Ok, ok, your noisy chatterbox no need. Get it further please, then a, why, from which? AI coming out?"

AI is a product from "good performance is the highest." A product from as soon as possible you can, from as low cost as possible you can, from anyway take it easy way, the best.

Once hearing well of "Stop 3 over, less over targeting, less over waste, less over random", but this concept just "overrun", after it no need human situation coming because human is just "3 over" "human error" itself holder!!

Otherwise this "performance" is sometimes called "cost performance".

This word "performance consists of 2 elements, up is effect, down is cost. Effect vs. cost, then sometimes called "cost performance" "cost per formation of effects"

But what we should pay attention here is without glancing at "upside effects", directly glancing at "downside cost" of above the word "performance" formula, the mis taking.

In the result of putting too much heavy weight on cost field rather than effect field, rushing into paranoic cost down movement attached with quality, amount down, shortcut way taking hiddenly inside, but to out arounds, nothing have done a changing, announcement.

And the left one is spreading outlook only dummy, fake, lies out and fall into "the liquidity trap" which means that while price down, price down, no sales quantity up, no sales quantity up, the phenomena. After it, production side = consumer side our income get reduced, deflation get settled.

AI is the final weapon of tracking, following with hi cost performance, in other word using, tracking cost down movement in the case of never can create true value add worth for live human, might beg

" less heavy duty charged, to take it easy way only" the CM phrase, to customer`s ear sounds soft, but in real, in actual, it`s rather, camouflage of production side cost down.

But this final weapon AI will attacks owner side own also as a final weapon. 🎵don`t know guy is his own only🎵🎵bad harvest, because of seeder himself🎵 It`s bad joke.

Sorry, will put it aside,

It's natural owner feel happy because cost is for maintenance of AI system only.

♪ Ok, it's Good Job!! ♪

Because even if AI initial cost hi, later coming cost down from human resource cost cut total effect will be more huge than initial hi cost for AI.

Only in such case, they shout the word not "performance" but "effect", the word putting on.

"What's the effect?" for such question, owner thinking level is like this, such.

"Effect vs. cost" the left 2 elements, out of common perspective, perhaps maybe, might be.

For example, both effect, cost never can count only by money worth field but also by other perspective.

Or no relevant of competition, like that on and on.

But from only money, such narrow perspective, it's never can be seen.

While seeking a car, no notice bicycle besides, despite of the same vehicle, like that situation, the same.

Sorry, will reset!!

But at one glance looks like almost of all matter inside, might be big misunderstanding, big black hole open, might be.

If the guy who fall into black hole is us, current the most hi performance receiver, general people, us, the tentative is correct or not.

If it's correct, we have to escape from it and for that we human being can survive, the answer is we have to be open from this wrong tightness of good (cost) performance, the highest, with more direct saying, we have to abandon this concept.

At now we regard "good performance" to that by it, confirmedly, rapidly can get money, can get happiness, can get self-actualization, as one series we count it. But is it correct or true, we have to ask to own as soon as possible we can, rapidly, we have to hold the doubt, the same.

Concerning to doubt, we hold this concept as a common sense less doubting below that "as less money, lost mind" "as to get aged, lost young mind", we ordinary commodity, less thinking automatically say. But is it true, correct ordering or not?

As opposite, reverse before after, ordering is correct or not? Concretely, "as lost fine powerful mind, no come closer money", "as lost fine natural, body got scrapped," and so on.

If fine mind is the first position, step, to get fine mind makes anyway taking, the possibility we can have, even if few money, scrapped body holder, us. Don't you think so?"

To take human humor human error humanity, too much mis taking low cost performance, low technology way, blue color worker way taking better rather than hi cost performance as a white color worker only tracking way, I think nowadays."

“Ax, disappointed, It`s your famous commodity concept just ad itself!! Big loss of seriously my hearing.”

“Never can move others` mind heart, unless investing with loss must.”

“Boss, you lost moist? Your skin? What`s the story? Tell me, tell me!! Your girl friend dislikes dry skin at the time?”

2024/3/17

17th Mar. 24

(Japanese expression ver.)

「怪談「AI」？」

(English expression ver.)

“A horror story concerning to AI?”



(Japanese expression ver.)

「怪談「AI」？」

「鳴り物入りで始まった無人コンビニに大誤算、とか言う記事が載っていたよ。全然人が入らないそうだ。理由はごちゃごちゃ書いてあったが、そんなのに関係なく、鼻から入らないなんてわかりきったことじゃないのよ、ねえ」

「なんでそんなことがわかるのよ。無人コンビニって、コミュニケーションベタなお客さんから見れば、店員さんとやりとりしなくてすむから気疲れしなくてすむだろうし、人手不足の解消にもなるし、店主からすれば人件費全然かからなくていいわけだから、三方よしのいいとこだらけじゃなかったの？」

「後者 2 つは何をかいわんやだが、最初のお客さんのマインドを完全に読み違えた結果だと俺は思うよ。又、うつ病の話するって、お前に怒られそうだが、敢えて言えば、うつ病患者は誰からも話しかけられたくないっていうのが定説だが、その定説自体が陳腐極まりないえせ定説だって事よ。話のわかる相手、自分の言うことが正しかろうが正しくなからうが思いの丈をマジに聞いてくれる相手なら、ほしくてしょうがないのよ。話聞いてほしくて仕方ないのよ。でもそんな相手、いないし、居たとしても上から目線だったり、一般

論しか口にしなかったりするから、そんな話なら聞くのも煩わしくて話しかけてほしくな
いって言うだけなのよ。その伝からすれば、コミュニケーションベタのお客さんだって、
そういう話ができる相手が居る可能性が全くゼロな無人コンビニなんて、本当は一番
に行きたくないところなんじゃないの？それを後者二つの理由で押し切って無人コンビニ
なんて始めるから大誤算するの当たり前じゃないのかねえ。これも効率至上主義、利益至
上主義、数字の論理が大手を振ってそこいら中練り歩いた結果だと俺は思うよ。なんでそ
んなことすらわからないのかねえ。もう完全に欲ボケで目が曇りきっているとしか言いよ
うがないきがするけどねえ」

「オヤジの場合は、資金がなくて無人居酒屋、出したくても出せなかっただけなんじゃな
いの？その腹いせとか八つ当たりなんじゃないの？」

「アホンダラ。それよりもっとやばいことがあるのよ」

「なにヨ？」

「AI 店員よ」

「又、AI？」

「この前もアメリカの医者の話でしたが、AI 医師と人間医師でドッチが感じが良かったか
患者にアンケートとったら圧倒的に AI 医師の方がポイント上だったって言う話。

これが無人店に AI 店員として採用されたら、そっちの方が完全にポイント上になると思
わない？無愛想なりアル人間より、お茶目な AI 店員の方にお客さんの支持、集まりそう
じゃない？

法務局の出先機関に行っても、入管の出先機関に行っても、エラソ、無愛想、ご大層な連
中にばかり会ってきた俺の印象からすれば、完全にそっちに流れそうな気がするけどね。
となるとますます人間いらなくなっちゃうでしょ？ま、自業自得と言えばそれまでなんだ
けど」

「シャチョ、ナニは AI とは出来ない之事あるまんねん」

「でももう、人のエロ好みから割り出したエロ AI 画像はそこいら中にあふれているから、
ナニのはなしだって AI ダッチワイフとか、そのうち出来ちゃうんじゃないの？」

「オヤジ、最近のオヤジの話は妙にリアリティあって怖いよ」

「俺、稲川淳二の次くらいに、怖い怪談話して人をビビらせるの好きだからな。許してお
くんまし」

「悪趣味い」

(English expression ver.)

“A horror story concerning to AI?”

“At the starting time, like a, with marching band parade attached less human staff

convenience store, very big far out of expected score!!! Such a caption on the magazine head line dancing!!

The writer were telling so many complicated reasons, no relevant with these explanations, against it, from the first, it's has been very clear no customer are visiting such there, very obviously, I guess!! Don't you think so?"

"Why you can tell such? Less human staff convenience store was from what they said, for customer who feel uncomfortable to store staff communicating, it's no need conversation will be comfortable, for man power catching, it's very good idea because of no need hunting, and for store owner, less pay wages, so, so, can feel fine, stressless matter, then for all arounds making happy isn't it?"

"The later of 2, no having to say, but the top of 3, consumer min matter is the result of miscounting about customer mind, I think.

You might be getting angry from my repeating to tell about a story of former my mental disease, but against it with strong mind to say, generally it's a common theory that mental disease holder no hope to tell from anyone. But in real and in actual this typical stereo type theory is perfectly opposite, I guess. Indeed, these mental disease holder always carrying strong eager to splash out their true voice, their saying is correct or not, it's not important, merely want to splash their true voices out. holding eager to seek someone who can be understandable of their complaining. But their around, such member no there. Only people who from hi position talk, or general story talk only, these people around them, only. So that these mental disease holders reject arounds` voices.

From this perspective, thinking about communication skill not well holding holder never visit human less store from the first because of perfect no chance to meet such above their true voice understandable possibility holding person, they unconsciously count it.

Against it, from the later 2 reasons using, to open human less store is sure to be unsuccess, exactly correct, I think. Such happenings from cost down the highest, profit, earnings the highest, logic of number the basic concept over influent wave, the reason, I think. Why they no understand such simple principal? Their eyes have already been so cloudy by their eager profit hunting that no can see anything, I guess."

"In Dad case, before it, because of lacks money for it, merely never can open human less shop, can't it? Is it your frustration out merely or not?"

"Kidding!! More over we have much more dangerous item!!

"What`s the dangerous?"

"Shop staff AI!!"

"Once again AI matter here?"

"At the previous time I already told about doctor in US, after doctor`s exam, checker asked

patients which doctor comfortable for you, AI doctor or real human doctor? The patients` answers were no competitively AI doctors` win.

Such AI humanity, if they are positioned at human less shop as a staff, lovely, joyful AI staff humanity will get hi point popularity rather than no kind, uncomfortable real human staff, don`t you think so?

Or at the branch of regal affair bureau, at the branch of immigration, no kind, tyrant behavior holding staffs occupied counter desk fully, according to such my impression, above tendency so rapidly will spread out, expand out here and there, I guess. From it, more and more no need human. Anyway, it`s own goal, is!!

“Boss, but never can have done it with AI!!”

“But already AI erotic image which is made for human erotic taste target around here and there are fully occupied. Then a, sooner or later AI Dutch wife will come out, maybe.”

“Dad, nowadays your talks little bit genuine reality holding, the a, feel terror.”

“Yes, I`m skillful horror teller for threatening arounds. Hi, Ho, sorry!!”

“Bad taste holder!!”

2024/3/18

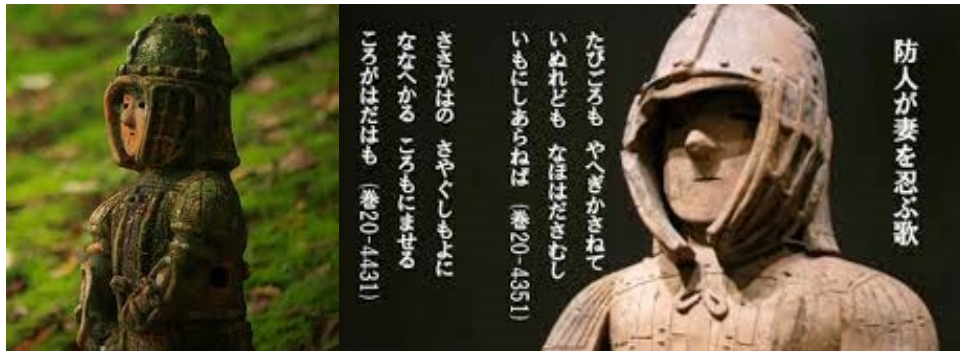
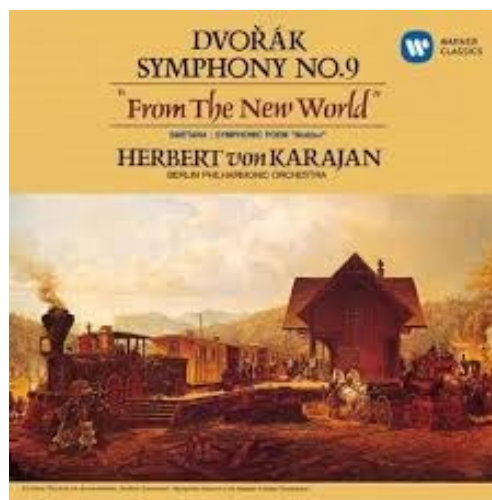
18th Mar. 24

(Japanese expression ver.)

「辺境より？」

(English expression ver.)

“From the edge of this world?”



(Japanese expression ver.)

「辺境より？」

「動植物を欲心や外連味（けれんみ）のない天使のごとき存在として描いているものがたまにあるが「よく、そういうこと臆面もなく描くよね」とおもってしまう。動植物の本姿は弱肉強食、露骨な欲心、外連味だらけの争いの世界、淘汰の世界だからだ。弱いものは露骨に強者に従い、強者も露骨に弱者を食い物にする。力の論理だけが働く世界だ。

その力の論理だけが働くあり方に真っ向から異を唱えたのが人間だ。弱者の存在を認め、それを力の論理の横暴から庇護しようとした処までは良かったが、それが皮肉にも徒となって、人口が爆発的に増えたが為に我々生き物が等しく住む地球をも破壊しかねない事態を招いてしまった。増え過ぎた人類の過度のエネルギー放出による温暖化や異常気象だ。人類が弱者を庇護せず動植物並みに弱肉強食の世界にだけ踏み止まっていれば、人類は増え過ぎずこうした事態を招かなかったかもしれない、というのは実に皮肉な二律背反といえるかもしれない」

「オヤジ、なんかすっごくコワイ話、してない？そんなことくっちゃべるとどこぞの団体から吊るし上げ食うからやめときなよ」

「踏み込んだ話をしないで、きれい事ばかり言っても見かけがいいだけ。表層が積み上がるだけで、何の解決策も生まれない。何重にも包まれたオブラートを剥がすのに時間ばかりかかって、話が一向に本体に届かない。当てずっぽうな方向にばかり進んで、一向に話が噛み合わない。ダミーな問題の投げかけ方に対してリアル且つアクチュアルな有効回答が返ってくるはずがない。無駄なことはやめた方がよほど後代の為になる。

最悪や最難題は最後に出すものではない。最初に出してそれが通るか否か。通れば後々話が早くなるし、通らなければ、そこでオシマイ。最後は NG になるのに、その NG を先送りするだけの無駄な時間を後々累積的に使わなくてすむ。相手も最後の最後になって、がっかりしなくてすむ。うまくいくと思ってついて行った最後の最後ではしご外されたら、既に既得権意識満載の相手は、それが既に織り込み済みの悦楽を最後の最後で裏切られたと、失意、怒り心頭に発するに決まっている。積み上がったドカ雪は早く屋根下ろしした方がいい。さもないと家が押しつぶされる。手間はかかるが常に雪下ろしをしておくに越したことはない。それに、最初のたとえに戻るが、最難題を最初に持ってくればそれがその後の一番いい訓練にもなる。それが自身の身のためでもある。小分けにして順序立てる。それが一番とっつきやすいと思っている。同じものでも順番を間違えるととんでもない結果を招きかねない。とにかく置く順番には気をつけた方がいい。

どのみち何を言ってもよく言われん。どうせ悪く言われるなら、この期に及んでは、思いの丈、言った方が得やろも。だから嫌われるの覚悟で申しておる。

基。

というわけで、話を続ける。

弱肉強食をいったん脇に置くことで、生存競争へのバーが引き下がり、生き残れた弱者の中には、再び弱者にならぬよう強食側につこうとするものも現れてきた。芥川竜之介作「蜘蛛の糸」の中に登場する過去の善心を忘れ、己だけは助かりたい一心のカンダタや、少し角度はチガウが、かつての人気 TV ドラマ「不揃いの林檎達」に登場した人物のように就職に際して「人の抜け駆けは許さないが、自分はこっそり抜け駆けして自分だけ採用試験に合格しようとする」ような輩もでてきた。

要するに生物である人類の本性も、いくら飾ったところで弱肉強食でしかないのかもしれ

ない」

「えっらい、冷めた見方するね」

「一言で言うと「倫理（善悪、正邪、経世済民）につくか、力学（オートマティック・ロボティック・パワー・メカニズム）につくか」だが、倫理観を持つ大抵の人は、人間社会の倫理的規範が弱者保護である以上、自分の手を汚してまでその罪（弱肉強食メカニズムが働いていた場合に見合う迄の頭数の削減＝バランス調整）を犯すつもりは毛頭ない。なので、弱肉強食メカニズムによる頭数の調整という大ナタを振るうが如き淘汰の波（適者生存の選択の篩い（ふるい）掛け自動発動）が押し寄せて来るとすれば人間界とは全く独立したメカニズムを持ち、無感情（人間から見ると無慈悲）な自然界や歴史の流れによる以外にはなからう。その大ナタの筆頭が人間が「市場における競争原理」という形の弱肉強食に先祖返りして図らずも生んでしまった AI 殺人兵器による逆襲のような気がする」

「ますます以て昨日のオヤジの「怪談」以上にコワ。ドシタの、最近？」

「商売のあり方を考えれば考えるほど、いろんな考えが浮かんできて、まとまりがつかなくなってしまったのよ。いいんだか悪いんだか、その区別さえ。

ちなみに今までの人類史というのは表向き倫理に肅々と従って動いて来た様に語られるが、実際は力学に従って動いて来ただけのような。政治、軍事、外交、ビジネス、マーケティング。

あらゆる面での勝敗結果は全部この力学の単純極まりない優勝劣敗ならぬ「強勝弱敗」による結果でしかない。倫理観の出番も効力も無力と言うより、全く無関係、無連絡、ノーリンクだったわけだ。

この差、矛盾を人々は折に触れ「不可解」「無慈悲」「不合理」「理不尽」「不条理」と呼び習わしてきた。

その差が生む「不可解」「無慈悲」「不合理」「理不尽」「不条理」の例としては、ウイルスの発見、ダイナマイトの発明や、核エネルギーの発見等があげられよう。

いずれもはじめは倫理的側面を強調して平和利用、例えばウイルスならその功罪を逆転させてた抗体治療による患者生存率の飛躍的アップ、ダイナマイトなら飛躍的工事期間の短縮や、核エネルギーなら飛躍的エネルギー効率のアップなど、その飛躍的効率アップによる人類への寄与を謳うが、結局はその汚染力、破壊力に目をつけた奴らに弱肉強食（力学、メカニズム発動）に尤も都合の良い大量破壊兵器として使われてきた。

AI も多分同じ流れのひとつだろう。要するに善悪より、弱肉強食の世界で勝ち残るための効率問題ばかりになってきた気がする。本旨を忘れて誤認識された状態での軍事、そこから派生して出来た、同じく誤使用された儘のマーケティング。皆同根からの派生物でしかない。

しかも最近では、弱肉強食勝敗最優先視点で、対象である人間を全人的に見ないで全て部分切りだしのパーツ化してしか見ていない。用があるところだけ切り出せば、他の部分がどうであれ、そんなの知ったこっちゃない、みたいな、人を「もの扱い」「使い捨てカイ

ロ」同然の扱い。一方で人命尊重といい、弱者を救って人間の数を増やししながら、片方でそれを押さえつけたり、食い物（餌化）にしたりする方法を同時開発しているミョウナ世界。

環境破壊反対アピールのために環境負荷の少ない風力推進ヨットで国連会議場まで駆けつける事はするが、そのヨットの出港地までは大量のガソリン使って車でドバツと乗付ける。環境に優しい EV 電池作るのに環境に最悪の銅鉱山掘り繰り返したりしている。部分最適かもしれないがまるで全体最適になっていない。居ないのにそれが売りになると思えば、平気で悪手を選択する。

こうなってくると、一体どこまで何を見れば、予測すればいいのか、何を基準にどう判断すればいいのか、なんか訳がわからなくなる。

いい事の手助けをしているつもりが悪いことの促進をしていたり、あるいはぱっと見には悪い事がその逆に正解だったり、その見極めに自信が持てない。

そしていつも最後はこういう、分かった風な一般論を上から目線で言ってお茶を濁すんだ「悪いのはウィルスそのもの、ダイナマイトそのもの、核エネルギーそのものではなく、それをどう使うかの人間側の欲心にある」って。

しかしそんなこと言って物事が良い方向にただされた事なんて一度もなかった。

となると唯一の手は、その渦中に入らず、距離を置いてそれらに全く近づかないこと以外にいい妙手を思いつかないのが現状だ。

しかし、そんなことを言って説諭しても、遠い先を見たその予測結果からいくら説諭しても何の役にも立たない。

矢張、耳を傾ける側の眼前に美味しい人参をぶら下げないと効果を発揮しないのも事実だ。こんな解の方向性すらわからないのに、この難問解決に残された時間は、終末時計が深夜12時、0時を指すまでの、残り後、30秒ほどしか残されていない。

アセル」

「オヤジ、考えすぎはヨクナイヨ。考えすぎるのヨクナイ癖だよ、オヤジの。暇に飽かせて、小人閑居して不善を為すの、ジャスト見本イットセルフだよ」

「しかしここを抜けないと先に進めない」

「シャチョ、入れた以上そう簡単に抜いてはいけない之事。ウーマンがブーブー言うアル之事。いいとこなの、抜かないでよ、言うアル之事」

「ネパちゃん、何の話、してんの？」

「ん？シャチョが若い頃ヤツテやってやりまくった、抜かず之三発のはなし、ちゃいまんねんか？こりゃ又失礼いたしやした。チャンチャン」

「AI に代表される効率至上主義に勝つ最終兵器は、どうも弱者貧乏で、その貧乏暇なし、逆手にとって極楽とんぼぶっこいている様な、脱線ネパちゃんの中にあるような気がして仕方ないんだが。直感的には」

「オヤジ、本当に混乱して居るみたいね。そこまで言うとなると、かなりの度合い」

「何を隠そう、コンラン・ドスケベビッチ・ゼツリンコフとは俺の事っちゃあ」

「オヤジも結構最終兵器の資格あるのカモ。脱線レベルじゃ負けてないから、ネパちゃんに。

もはや「多忙」にかまけ「心を亡くしている」この世の中央、渦中にあるものではダメで、暇ぶっこいて訳のワカラン極楽とんぼしている、この世の辺境からしか変えられないってことなのかね。ドボルザークの「新世界より」じゃないけど防人（さきもり）的「辺境より」って言う感じなのかね、有り体に言えば」

「♪ありが父ちゃん、待ってた、ホイ♪ってか？ナハ、ナハ、サンキュ」

(English expression ver.)

“From the edge of this world?”

“Sometimes we can meet the illustration in which animals or plants are drawn like a angel no having envy, at the time of looking at that, I always feel it`s a vacant lie. Animals and plants , their true faces are just “strong eat, weak meat” the world agent`s itself. The weak follow after strong, with the weak one`s head down, on opposite the strong like a tyrant with head up treats the weak, both side behavior obviously. There power logic only running.

But the one which against it, only power logic is running, the world, is human being (human society, system). To allow space for the weak, until there to cover from power logic attacks has been well, but ironically it caused sharp increasing of human population, which now inviting of our planet where all creature live, collapse the possibility has been caused, from our over using energy, in other words, our planet warming, abnormal climate, and their attacks to us.

If human being society no covering the weak, bater, as same as animals, plants, under staying “strong eat, weak the meat” system, population of human being not so highly increasing. Exactly indeed very big double standard, against to each other, night be.”

“Dad, your talk contains something so fear or not? From such have done, will possibility here to be arrested by some party, please pay attention around!!”

“Due to put “Strong eat, weak the meat”, the concept once aside, it bring to the weak clear bar level down, could survive, some of the weak who try to turn from pressure given the weak side to strong side, rich side, pressure giving side, have come out. Like Juda betrayer in the Bible.

On summarized, natural fundamental origin of human beings as creatures simply might be under “strong eat, weak the meat.”

“Ax, such a cool perspective you take!!”

“To say with one word using, which taking or ethics side or taking power mechanism side?, is.

Almost of all who have perspective of ethics, such as never to take a choice which like this human head reducing until “strong eat, weak the meat” tentative had done it case, balance adjustment, such a by own never.

Then a, who or which will have done it? What will have done it is maybe standing alone no relevant with human ethics and less emotional one, for example from current items, AI weapon for human killing attacks. So huge amount of human will be killed with less emotion, like as one of jobs automatically, might be.”

“You put much more fear on me. Nowadays what happen on you!?”

“More to think about new business style, more and more to get confused further deeply, which is correct, which is wrong, even it the issue, no selectable.

On summarized, until now the history of human beings, on outlooks looked like following (obeying) with after ethics naturally, but in actual, in real, indeed simply obeying with after automatically running power mechanism, politics, military, diplomacy, business, marketing.

On all fields this win or not win, the result is from this simple power logic of “strong eat, weak the meat” principal. Ethics no linking.

Concerning to this unmatched, people have called it as “OMG, unbelievable, No God!!, NG!!”

As several samples, below,

Virus matter, dynamite matter, nuclear power matter and so on, several matters we have.

Each one at the first, while developers enhancing ethics face, using for peace, appealing sharply hi performance up. However in actual, at the final, from the guys who noticing these hi performed hi power, these have been used as hi “strong eat, weak the meat” hi performance weapons.

AI issue maybe one of these flows.

Simply saying, rather than ethics, under this “strong eat, weak the meat” world, how to survive, how to get be winner own, for these issue are seeking hi performance power, the only, might be, might be.

But the time for resolving this difficult question, the left time until midnight clock 12 h hi, only 30 sec. Panic me!!”

“Dad, too much over thinking never!! Keep standard level thinking, to keep!!”

“But like this bottleneck hole should have gotten over through, next step no come!!”

“Boss, bottle neck, nick, pick up, never pick bottle up from hole!! Woman will shout “never pick bottle size cock away my hole!!”

“Hey, Nepali guy, what`s your speaking story!?”

“Is it pervert man`s performance bottle size cock story Boss speaking or not!? Musuko son!!”

“Hey, my son!! Against AI which is a symbol of performance the highest concept to get win is that a hint is staying inside crazy non sense like a Nepali guy, might be inspiring me why some.”

“Sure you are little bit crazy mode until you say so!! So, so confused!!”

“Confuse, fuse out now me, yummy!?, No!! no, nope, no nodding!!”

“Ax, oops, Dad the same level as him., strong non sense weapon against logics!!

Anyway, never can change this world system from center main mid inside but can change from far edge of this world only, the way or not? By using allegorical one, Dvorak symphony No.9, the name “From the new world”, it`s not but “From the edge of this world” like this might be!!, a bet, shot, get, shot get the target!!”

(著者プロフィール) Writer`s profile.

うときゅう いっき(writer`s name utokyu ikki or Khazu san)

本名 宇都宮一貴 (うつのみや かずたか)

1953 年東京生まれ(was born in 1953 in Japan.)

早稲田大学第 1 文学部露文学科を 2 回留年の後、卒業。

国内電機メーカー家電製品商品企画部に 20 年間勤務。同子会社経理部等に 16 年間勤務。

40 歳から 52 歳まで 12 年間うつ病を罹患。

左遷、リストラ、降格、離婚、家族崩壊等を経験。

定年後、株式会社 うと Q を設立 (After retirement from Toshiba, established, “utokyu corporation” in 2014)

現在主業はネパールカレー屋。(Now main business Nepali curry restaurant, “Namaste everybody” owner)

趣味は観察すること、考えること、書くこと、盗撮はしないスマホ・カメラの四つの k。

著者名は苗字、宇都宮一貴の音読みで、中学校時代の仇名。

宇宙の「う」

東京都の「と」

宮殿の「きゅう」

数字の「いち」を詰まり音便で「いっ」

貴族の「き」

で、うときゅういっき となります。

漢字表記にしますと、かなり御大層な人物に見え、実態に全くそぐっておりませんので、誤解を招かぬよう音読みひらがなで表記しております。

ホームページ：<http://utokyu.co.jp>

(出版情報)

著 者 うときゅういっき

発行人 宇都宮一貴

発行所：株式会社 うと Q ナマステ別館堂出版部

〒215-0018

神奈川県川崎市麻生区王禅寺東 5 丁目 3 4 番 7 号

電話 (phone)：044 - 989 - 1698

発 売 株式会社 うと Q ナマステ別館堂出版部

編 輯 しばらくの期間「ナマステ別館堂出版部」

カバーデザイン & DTP 製作 当面の間「ナマステ別館堂出版部」及び「ナレッジフォレスト 大竹鉄哉」

©Kazutaka Utsunomiya uploaded in Japan from 2020

発行日：2024 / 3 月 18 日初版発行 (18th Mar. 24 released.)

本書の一部または全部について、著作権上、著作権者の承認を得ずに、無断で複写、複製することは禁じられています。All cory rights reserved.

(その他著書)

●多数

●尚、掲載写真は全て google 画像サイトの著作権フリーのものをダウンロードして使用しております。当社には著作権、版權は全くない事を明記させて戴きます。